

# 全国中小企業動向調査結果

(2023年10-12月期実績、2024年1-3月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業者20人未満)

### 小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲17.6となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期から低下し、▲2.4となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲10.8となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

#### ■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲17.6 (+1.6)	▲2.4 (-3.2)	▲10.8 (+5.2)	▲19.4 (+1.2)	▲16.3 (+0.9)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

### 中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から低下し、5.4となった。  
来期はほぼ横ばい、来々期は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から低下し、13.9となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からほぼ横ばいの▲4.8となった。  
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
5.4 (-2.3)	13.9 (-2.0)	▲4.8 (+0.4)	0.8 (-0.3)	5.0 (+1.2)

#### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貫)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:山口(修)、立澤)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

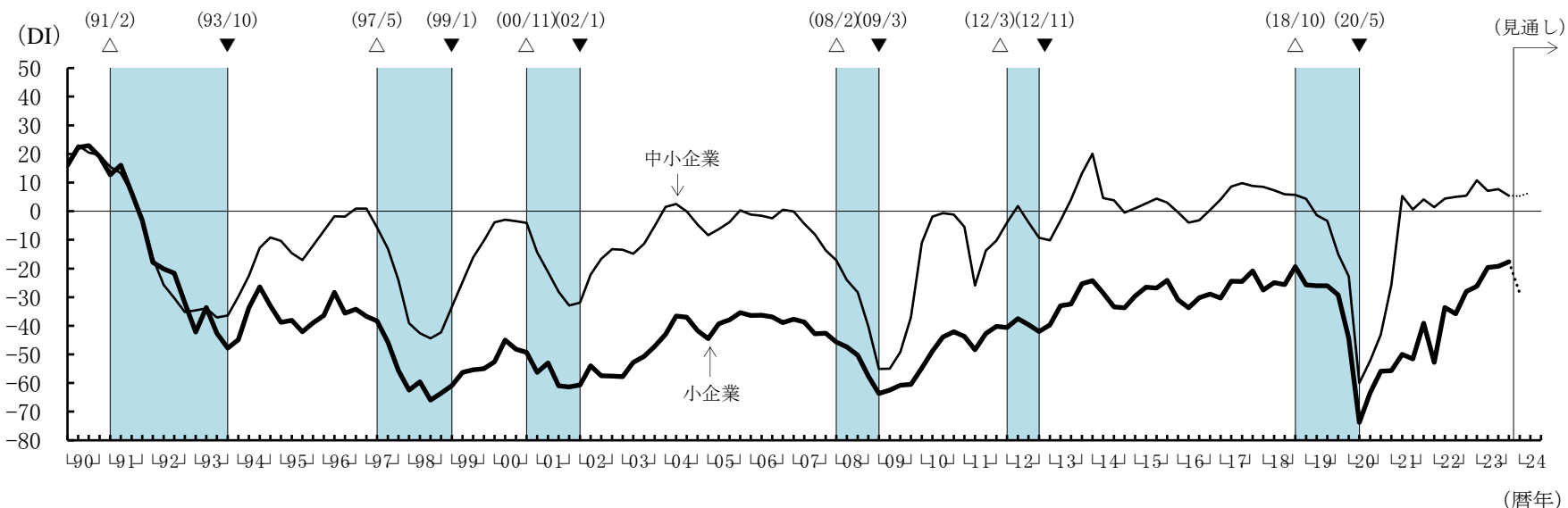
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

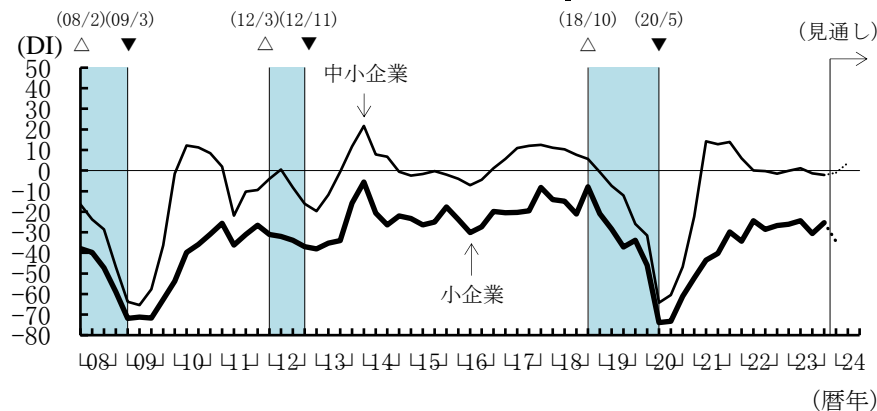
### ①全業種計

	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6
中小企業	4.1	1.4	4.4	5.0	5.4	10.8	7.1	7.7	5.4	見通し	見通し
小企業	▲39.1	▲52.8	▲33.6	▲35.8	▲28.0	▲26.3	▲19.7	▲19.2	▲17.6	▲28.5	-



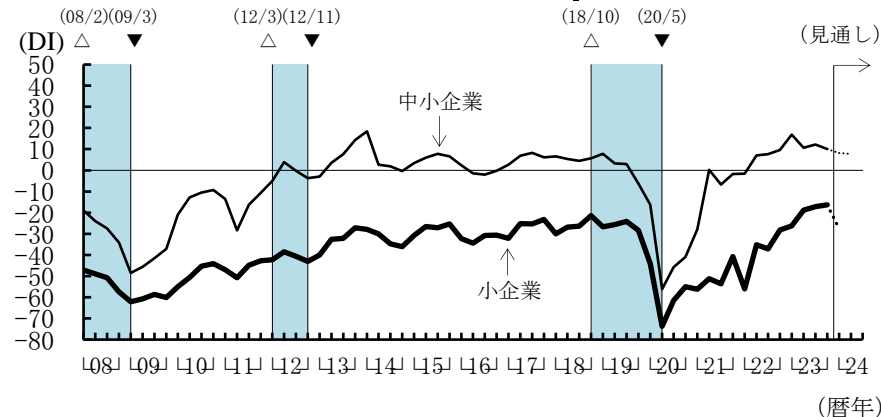
### ②製造業

	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6
中小企業	1.1	▲1.3	▲2.2	▲1.1	3.7
小企業	▲24.4	▲30.6	▲25.3	▲34.4	-



### ③非製造業

	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6
中小企業	10.6	12.2	10.0	8.2	7.8
小企業	▲18.8	▲17.2	▲16.3	▲27.5	-

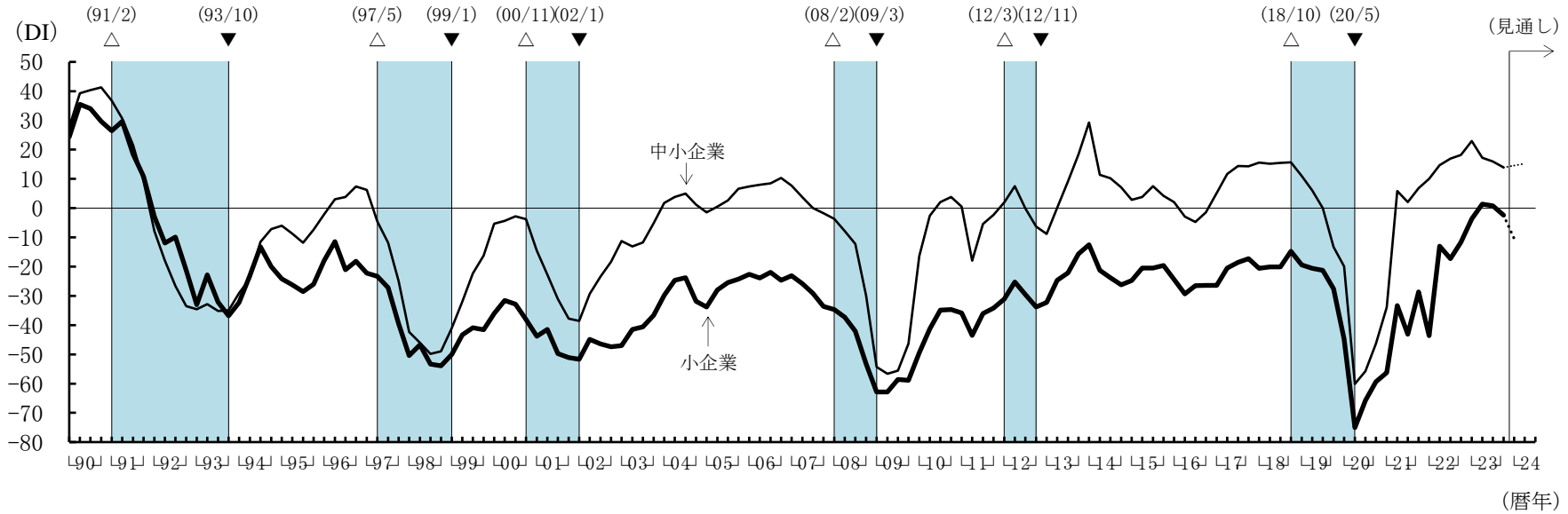


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

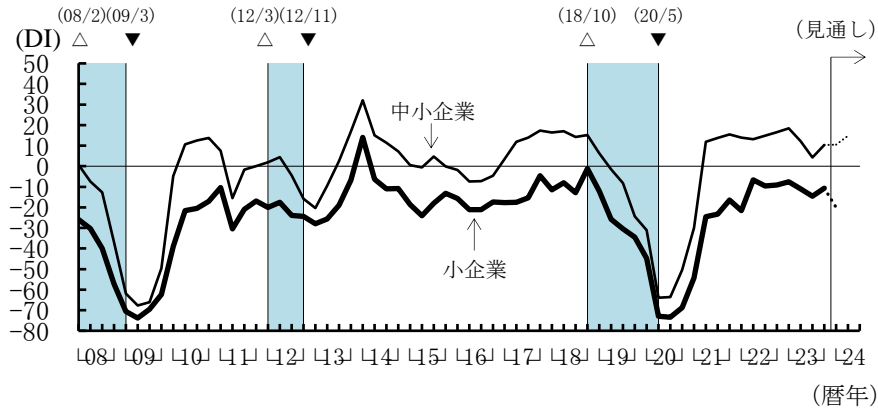
### ①全業種計

	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6
中小企業	6.9	10.1	14.7	16.9	18.2	23.0	17.2	15.9	13.9	見通し	見通し
小企業	▲28.6	▲43.6	▲13.0	▲17.3	▲11.6	▲3.6	1.4	0.8	▲2.4	▲10.4	-



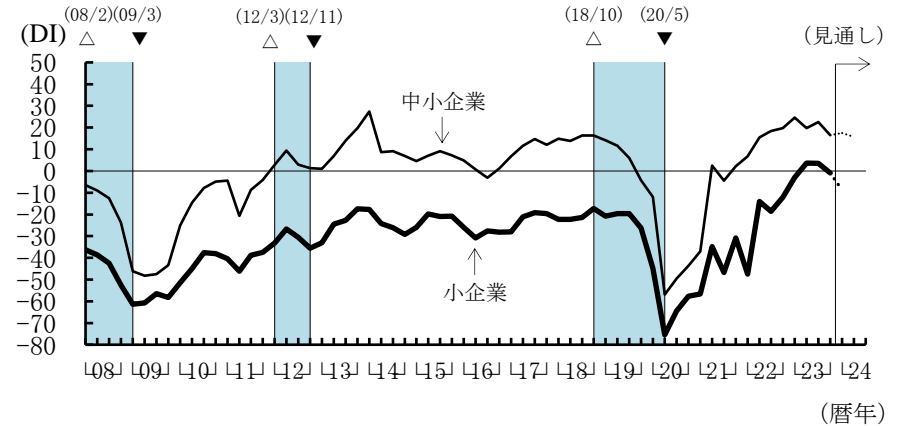
### ②製造業

	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6
中小企業	12.2	4.2	10.3	見通し	見通し
小企業	▲11.0	▲14.6	▲10.6	▲20.0	-



### ③非製造業

	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6
中小企業	19.8	22.5	16.5	見通し	見通し
小企業	3.6	3.5	▲0.9	▲8.7	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2023年10－12月期実績、2024年1－3月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2023年12月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 10,000 企業
有 効 回 答 数	5,888 企業 [回答率 58.9 %]

### < 業 種 構 成 >

		調 査 対 象	有 効 回 答 数	
製 造 業	(従業員20人未満)	1,500 企業	880 企業	( 構 成 比 14.9 %)
卸 売 業	( 同 10人未満)	800 企業	594 企業	( 同 10.1 %)
小 売 業	( 同 10人未満)	2,450 企業	1,352 企業	( 同 23.0 %)
飲食店・宿泊業	( 同 10人未満)	1,800 企業	863 企業	( 同 14.7 %)
サ ー ビ ス 業	( 同 20人未満)	2,000 企業	1,269 企業	( 同 21.6 %)
情 報 通 信 業	( 同 20人未満)	160 企業	74 企業	( 同 1.3 %)
建 設 業	( 同 20人未満)	1,100 企業	722 企業	( 同 12.3 %)
運 輸 業	( 同 20人未満)	190 企業	134 企業	( 同 2.3 %)

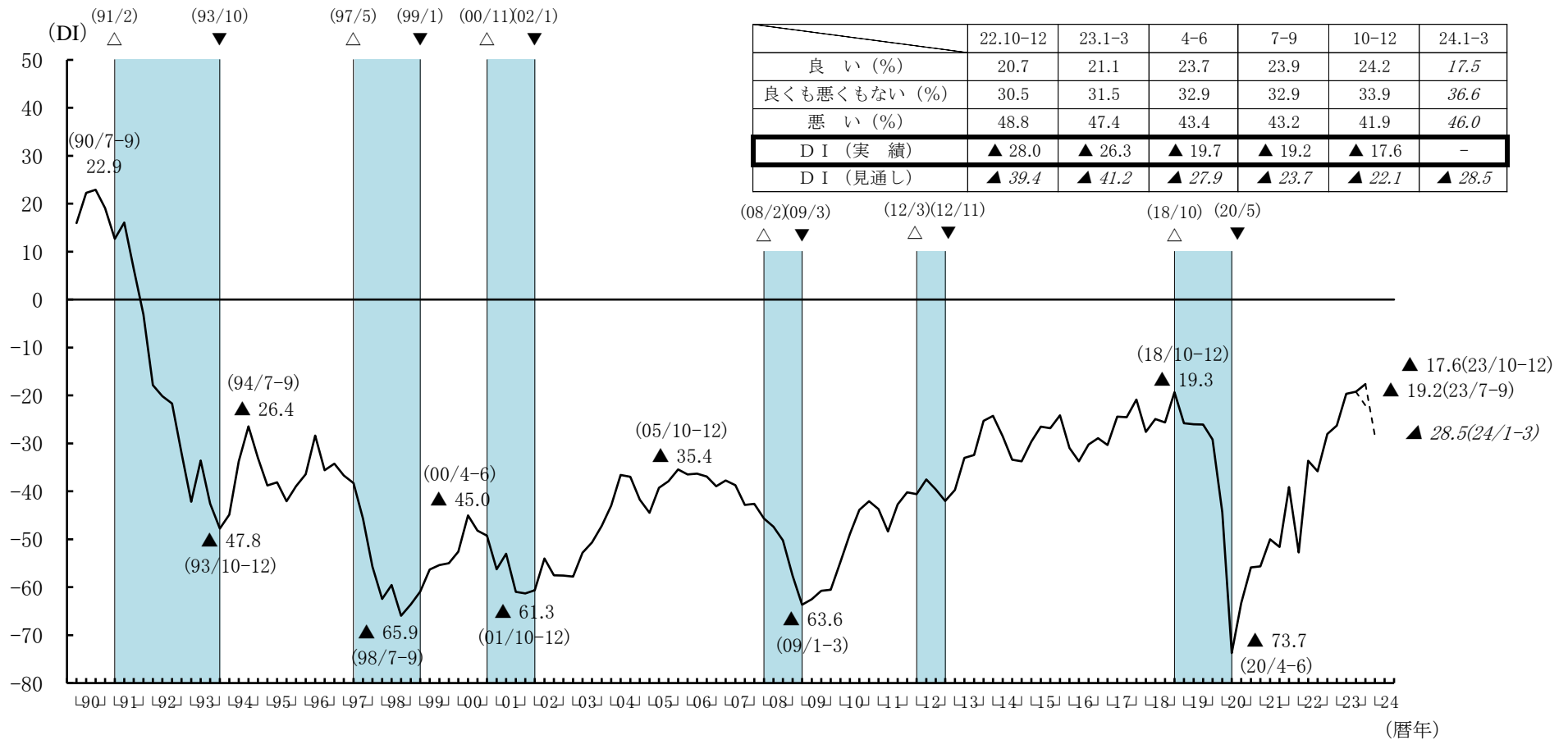
(参 考)

法 人	3,931 企業	( 構 成 比 66.8 %)
個 人	1,957 企業	( 同 33.2 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2023年7-9月期）からマイナス幅が1.6ポイント縮小し、▲17.6となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲28.5となる見通しである。

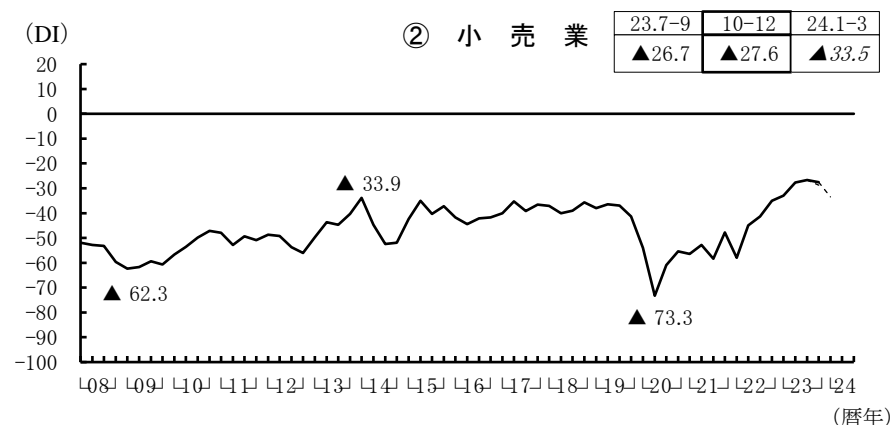
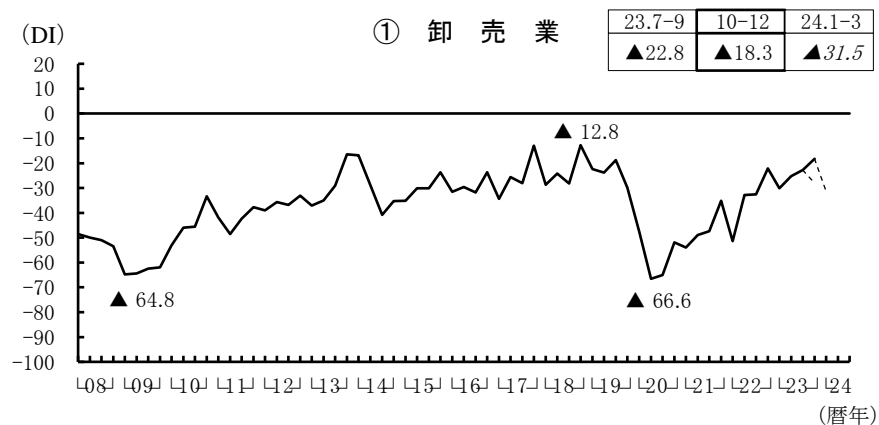
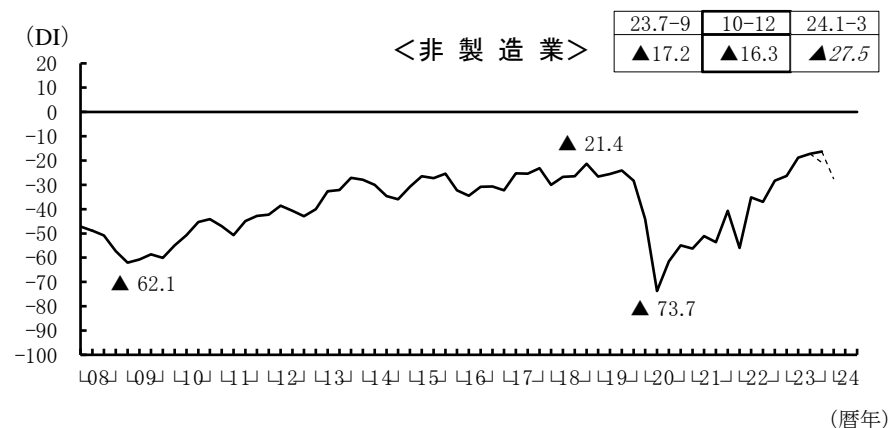
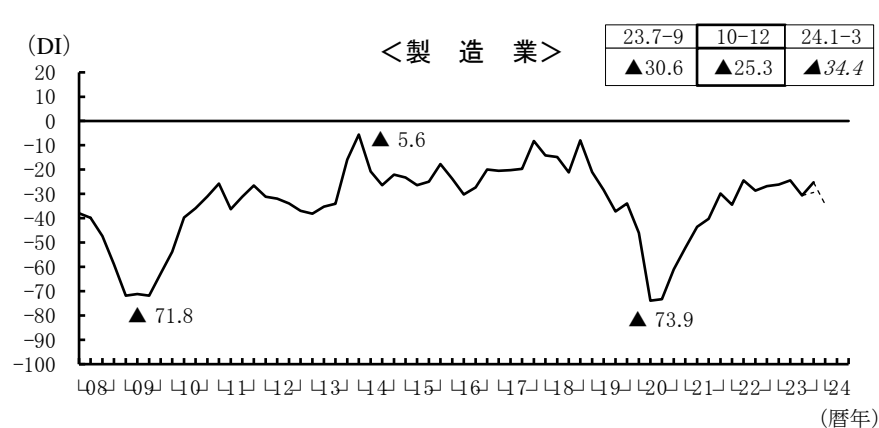
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



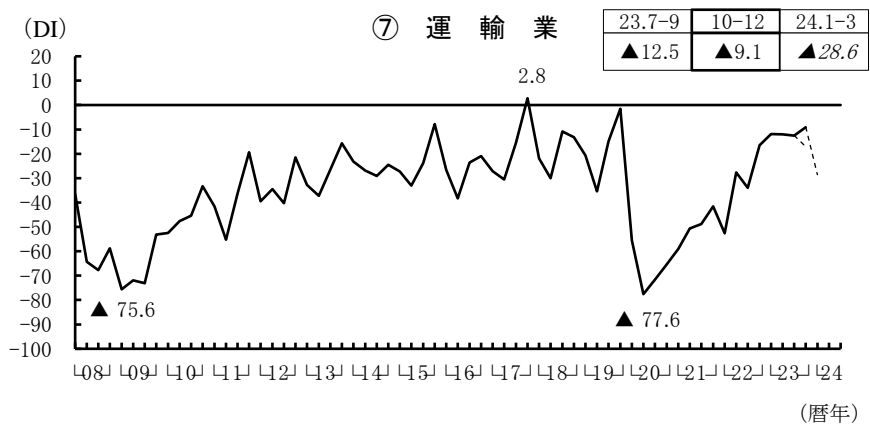
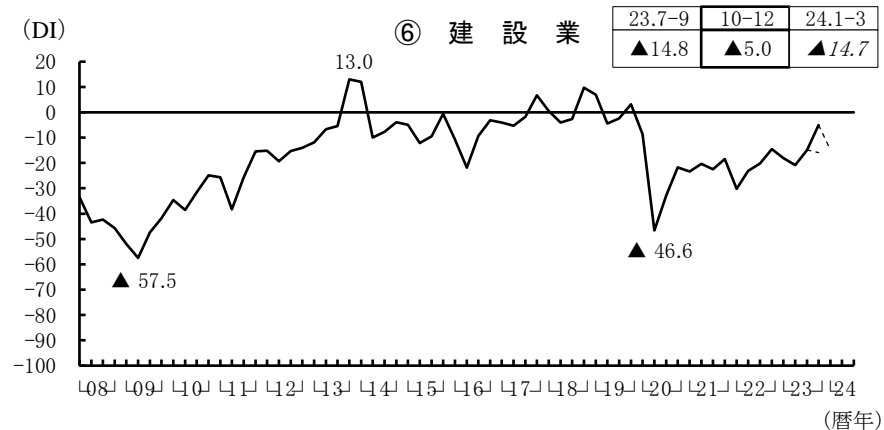
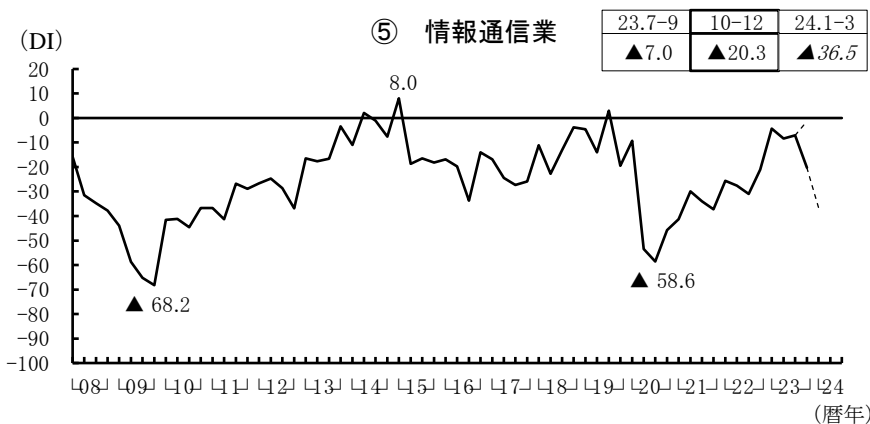
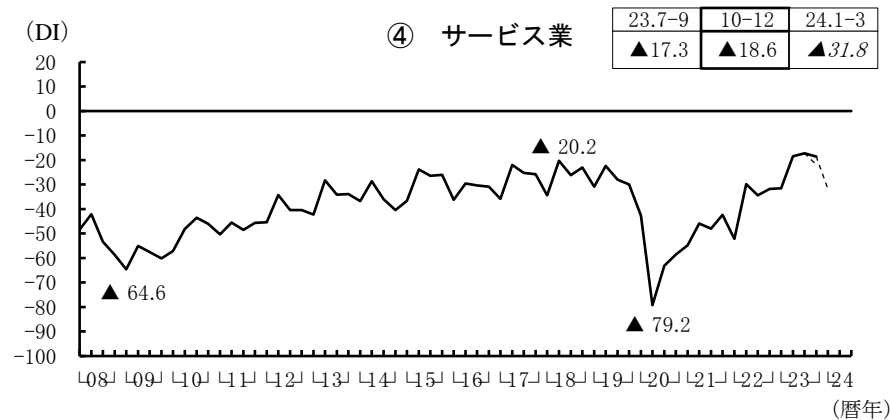
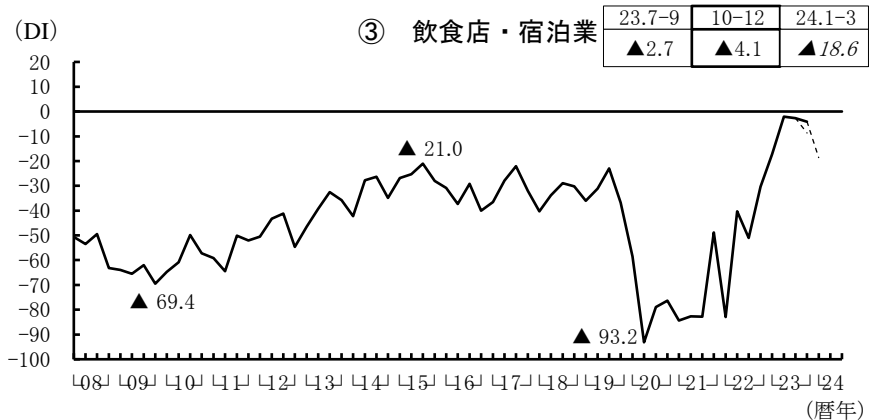
○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲25.3）、非製造業（▲16.3）ともにマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、卸売業と建設業、運輸業でマイナス幅が縮小した。

○ 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

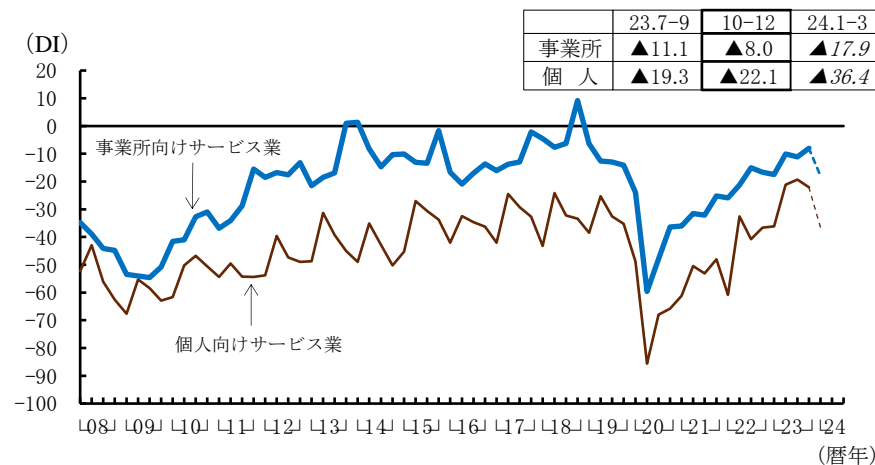
図－２ 業種別業況判断DIの推移





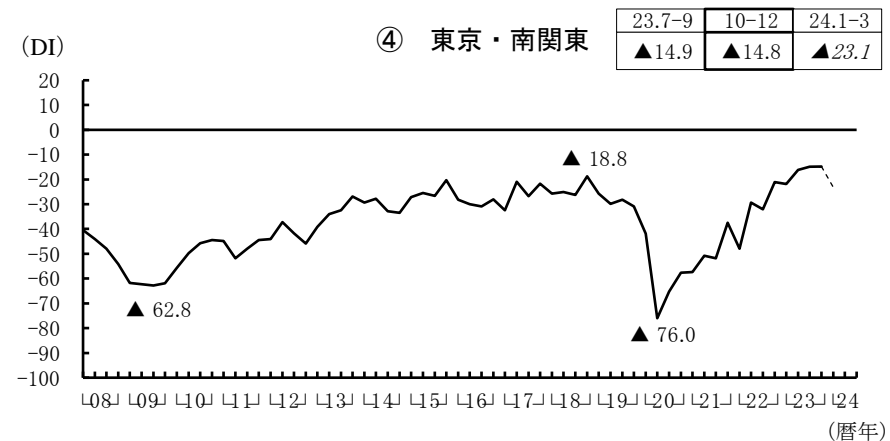
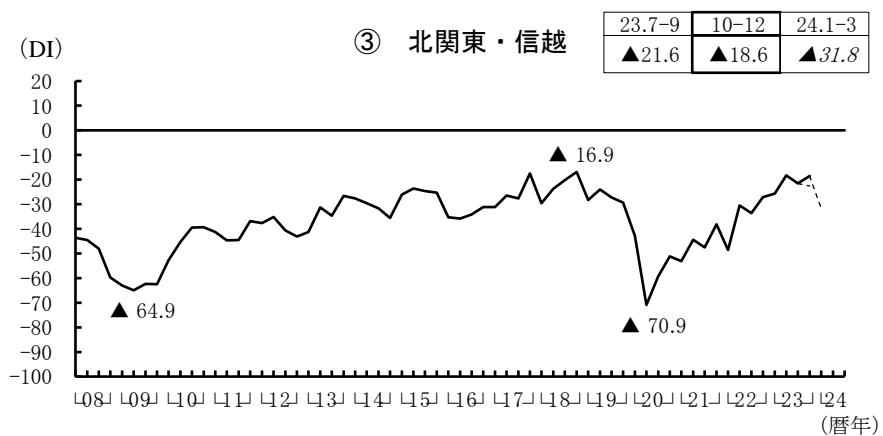
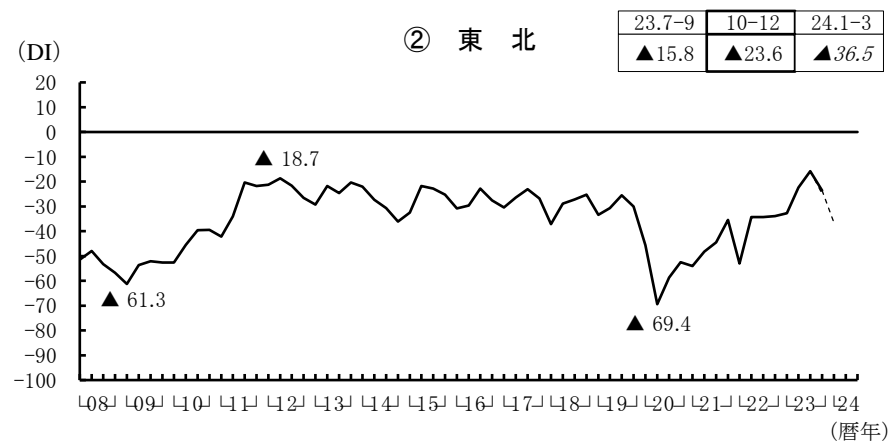
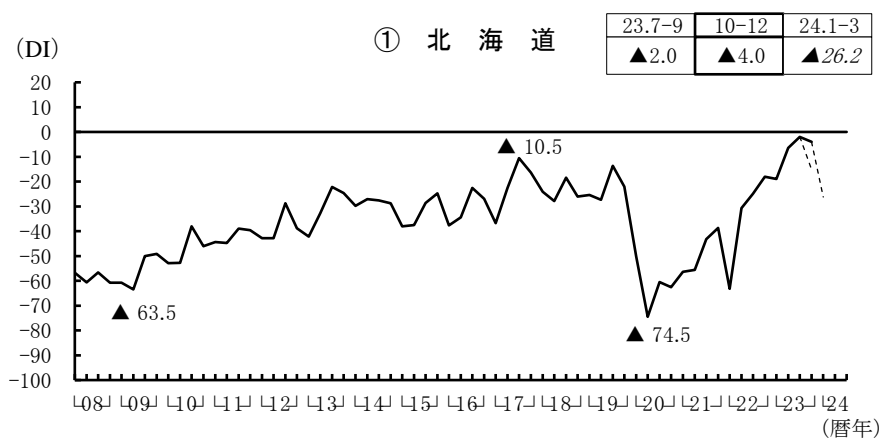


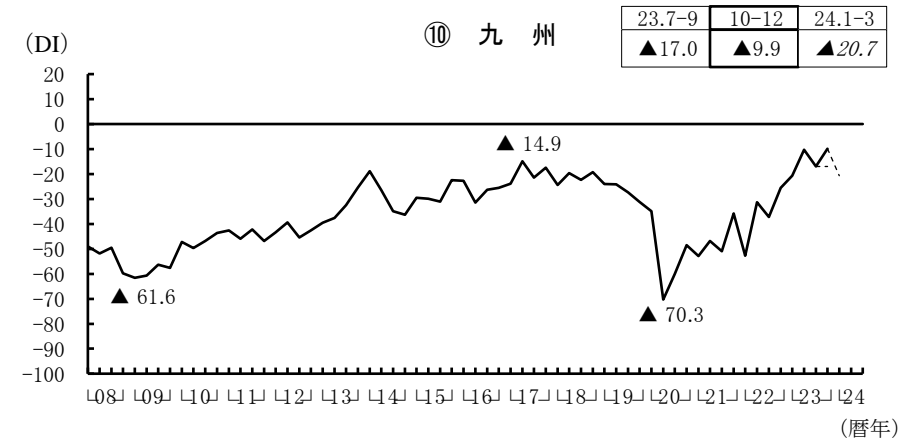
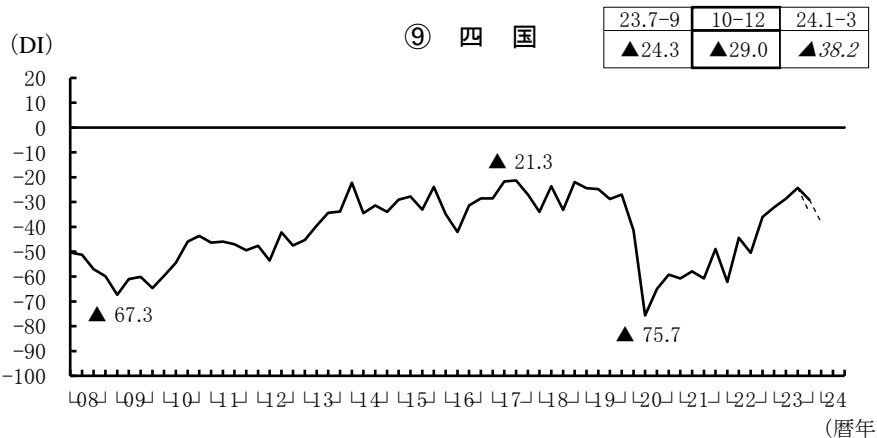
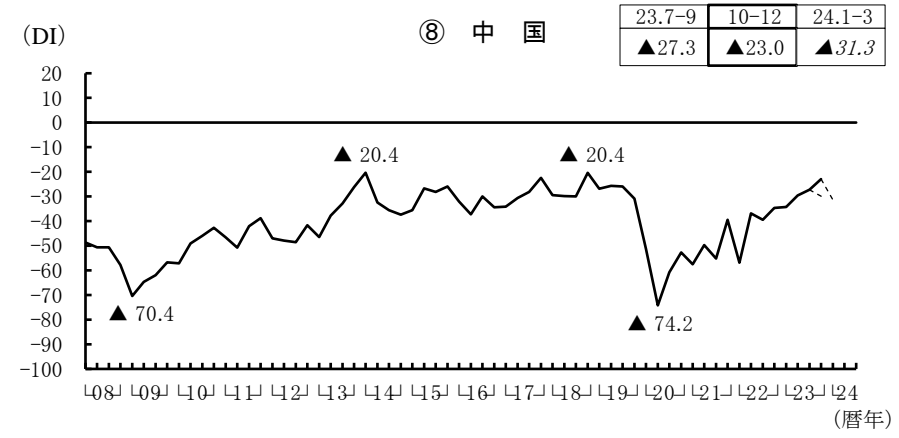
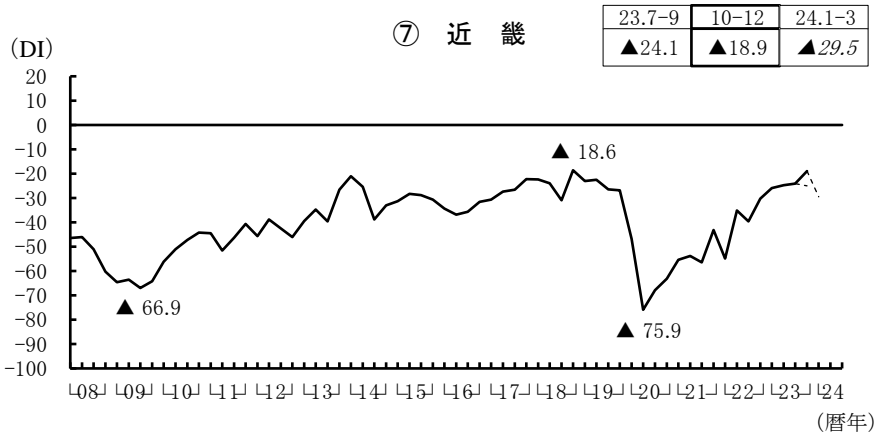
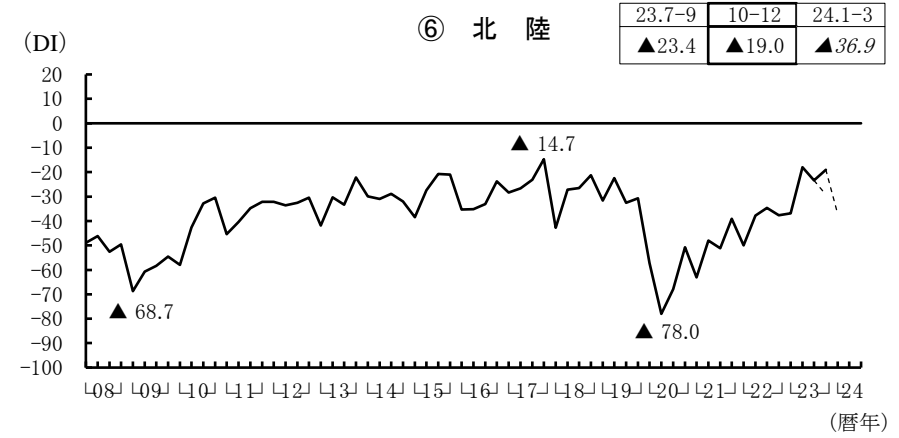
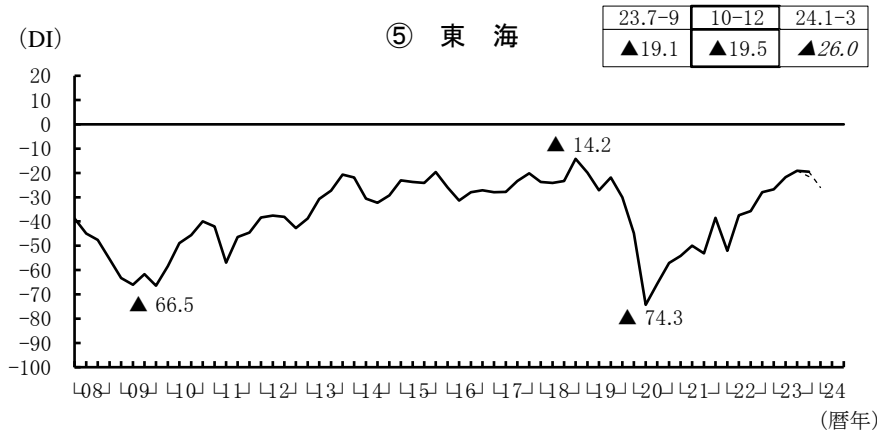
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道と東北、東海、四国を除くすべての地域でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、すべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

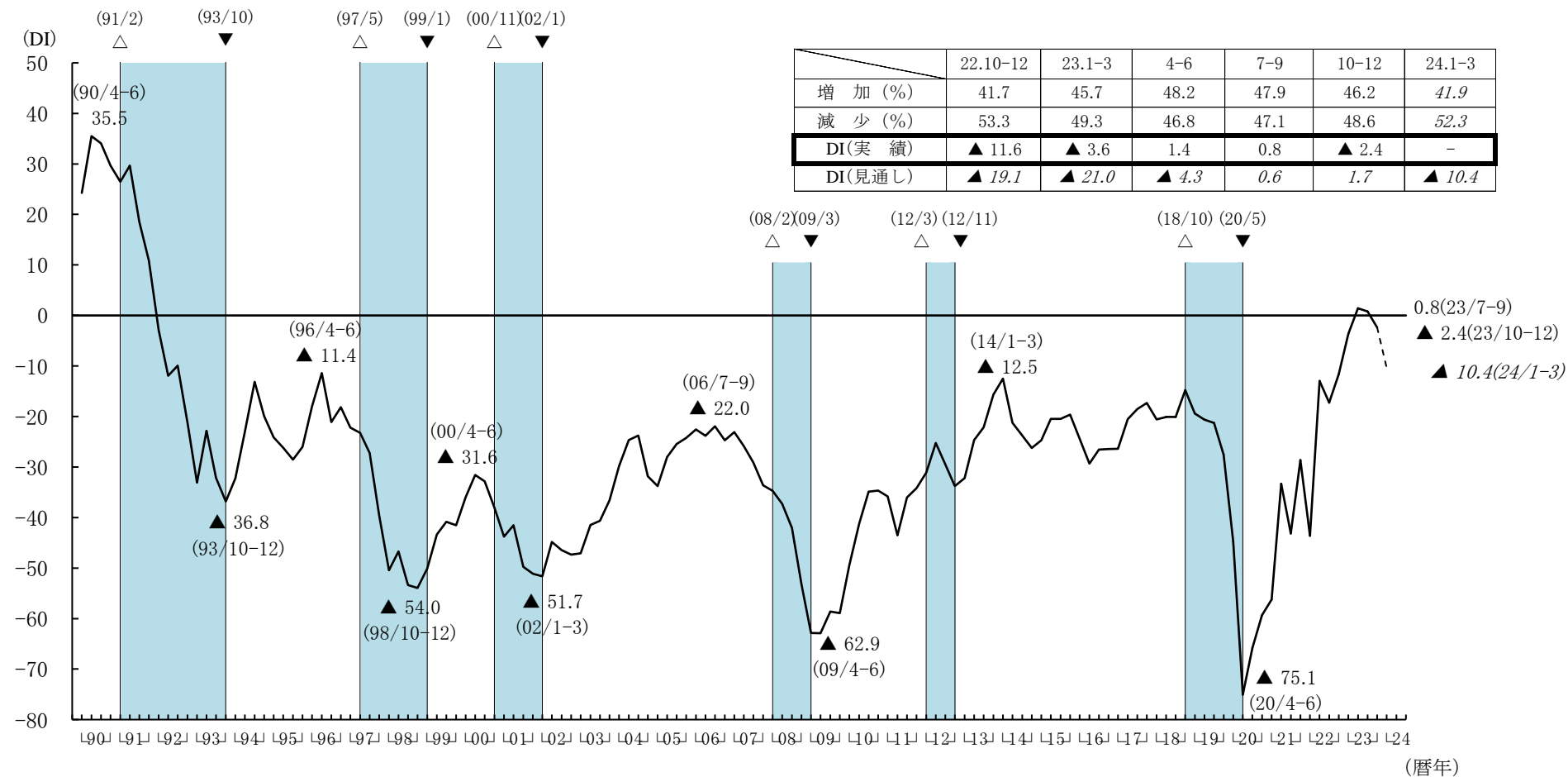




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期から3.2ポイント低下し、▲2.4となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



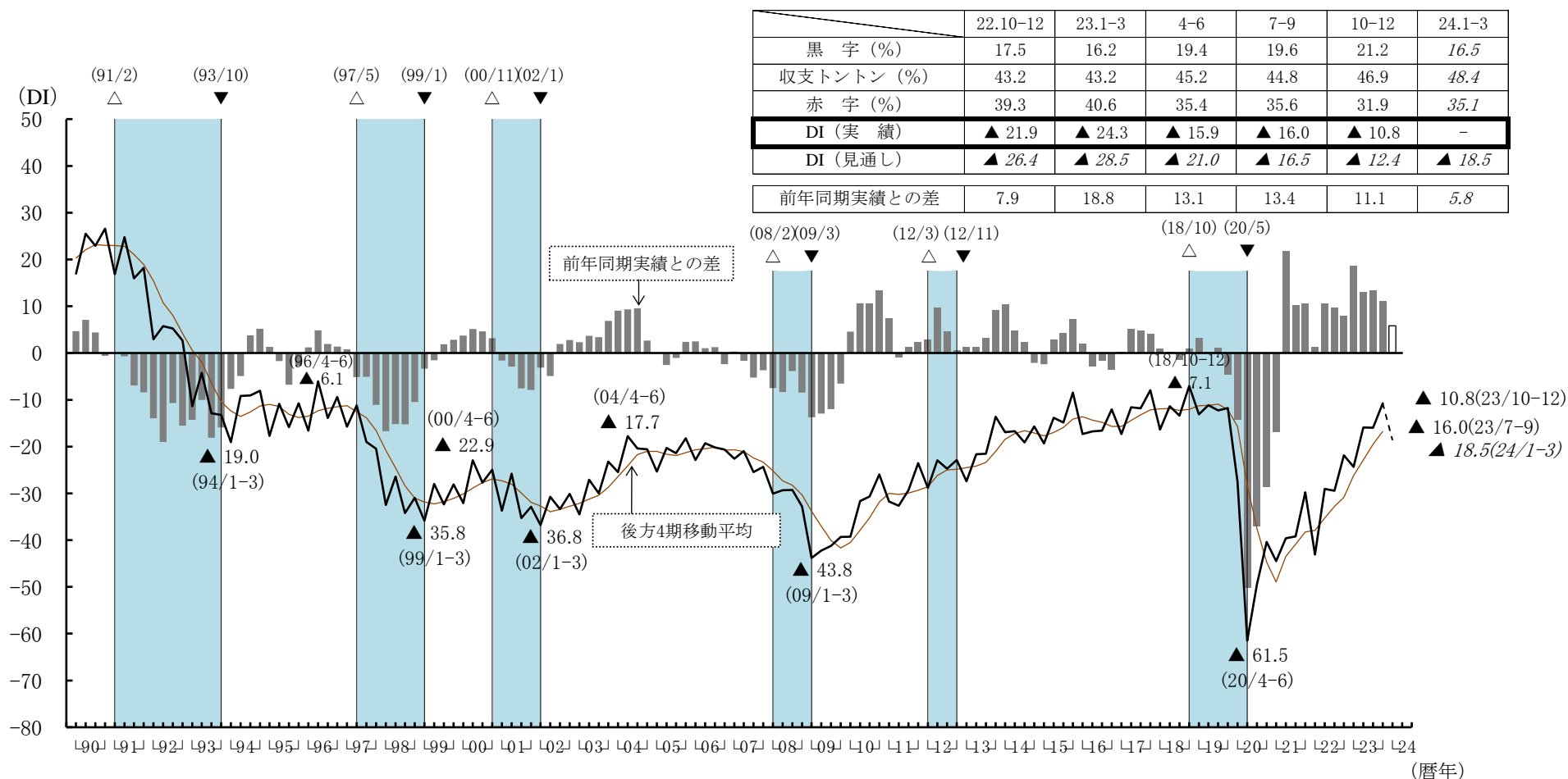
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が5.2ポイント縮小し、▲10.8となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－5 採算DIの推移（全業種計）

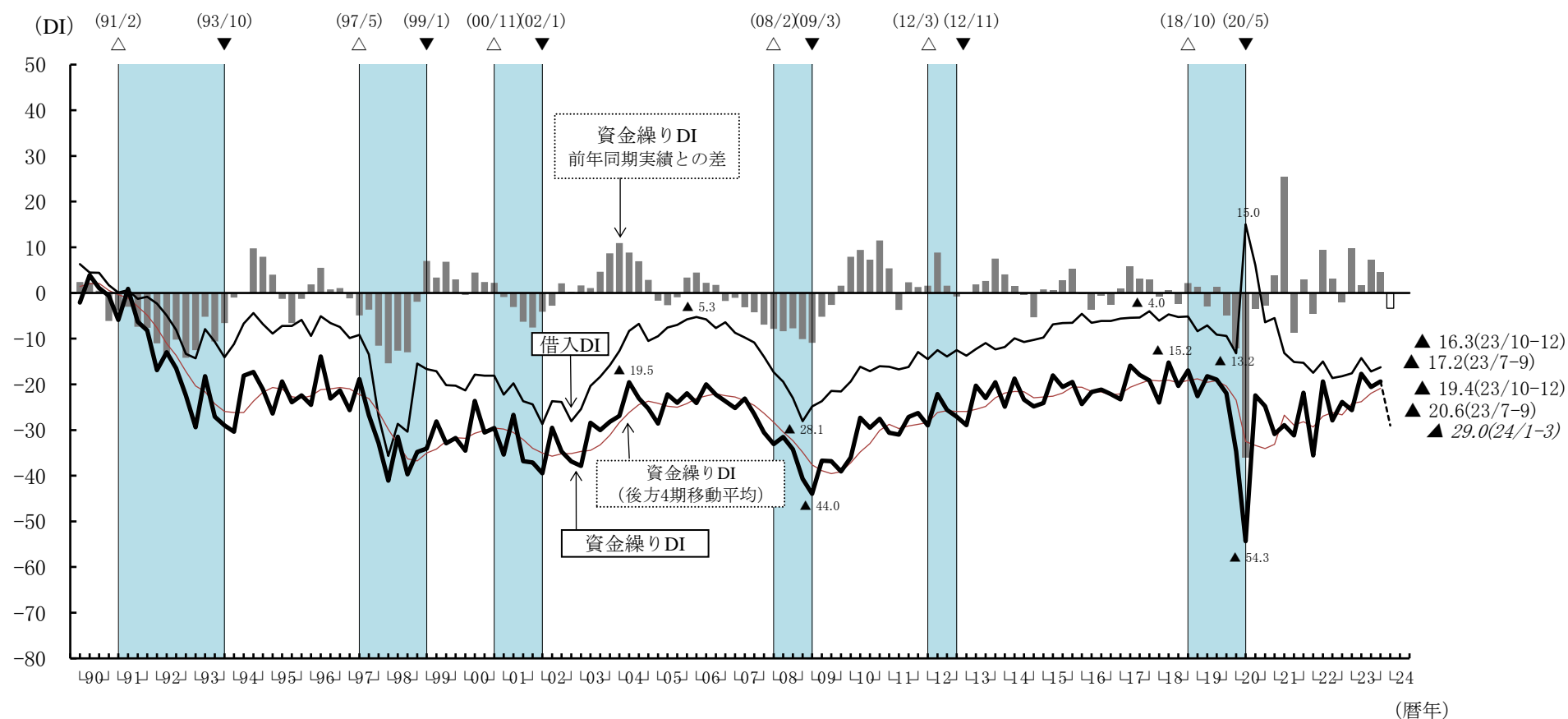


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が1.2ポイント縮小し、▲19.4となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が0.9ポイント縮小し、▲16.3となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

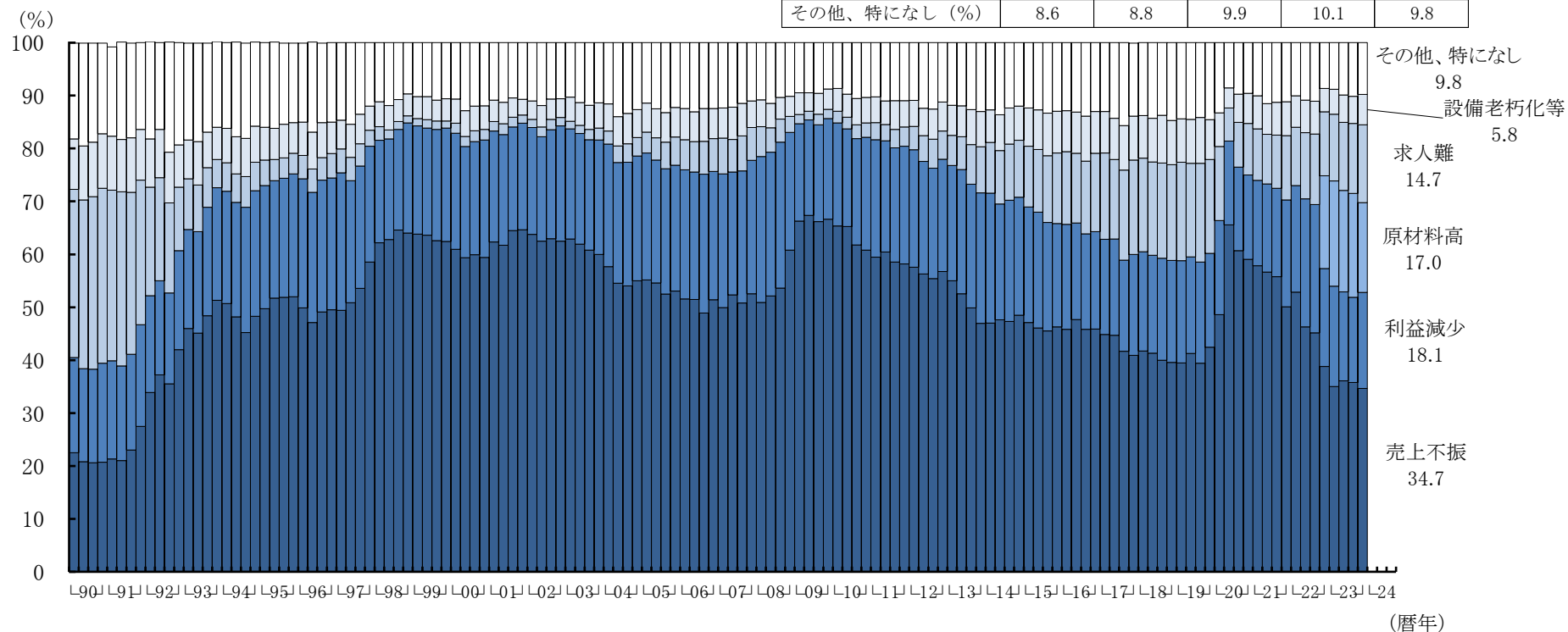


## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が34.7%と最も多く、次いで、「利益減少」（18.1%）、「原材料高」（17.0%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計）

	22.10-12	23.1-3	4-6	7-9	10-12
売上不振 (%)	38.8	35.0	36.1	35.8	34.7
利益減少 (%)	18.5	18.9	16.8	16.1	18.1
原材料高 (%)	17.5	19.9	19.2	19.6	17.0
求人難 (%)	12.1	12.6	12.9	13.2	14.7
設備老朽化等 (%)	4.4	4.7	5.2	5.1	5.8
その他、特になし (%)	8.6	8.8	9.9	10.1	9.8

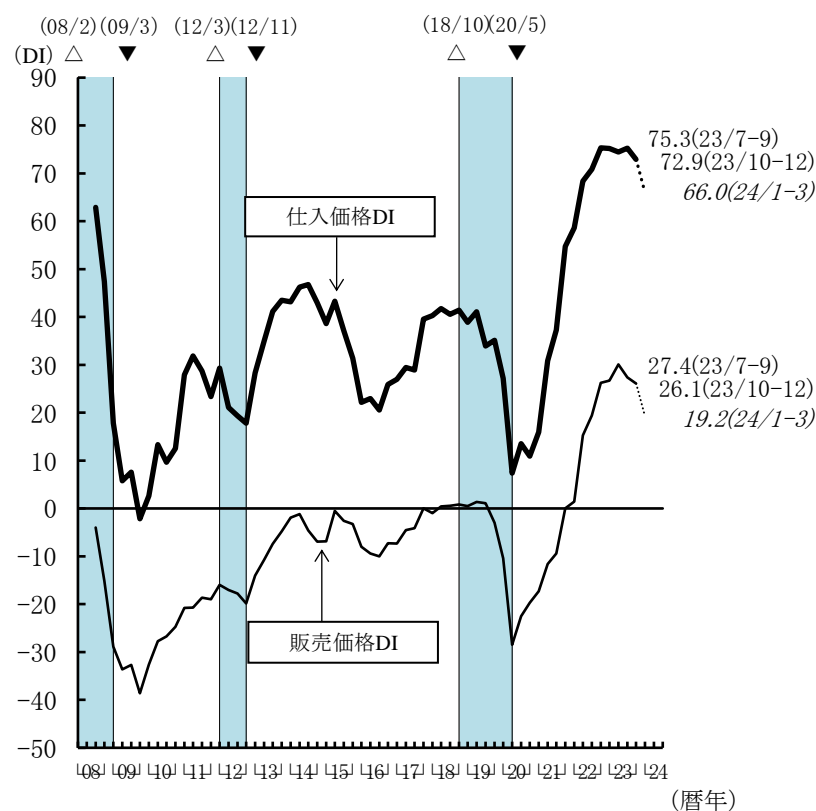
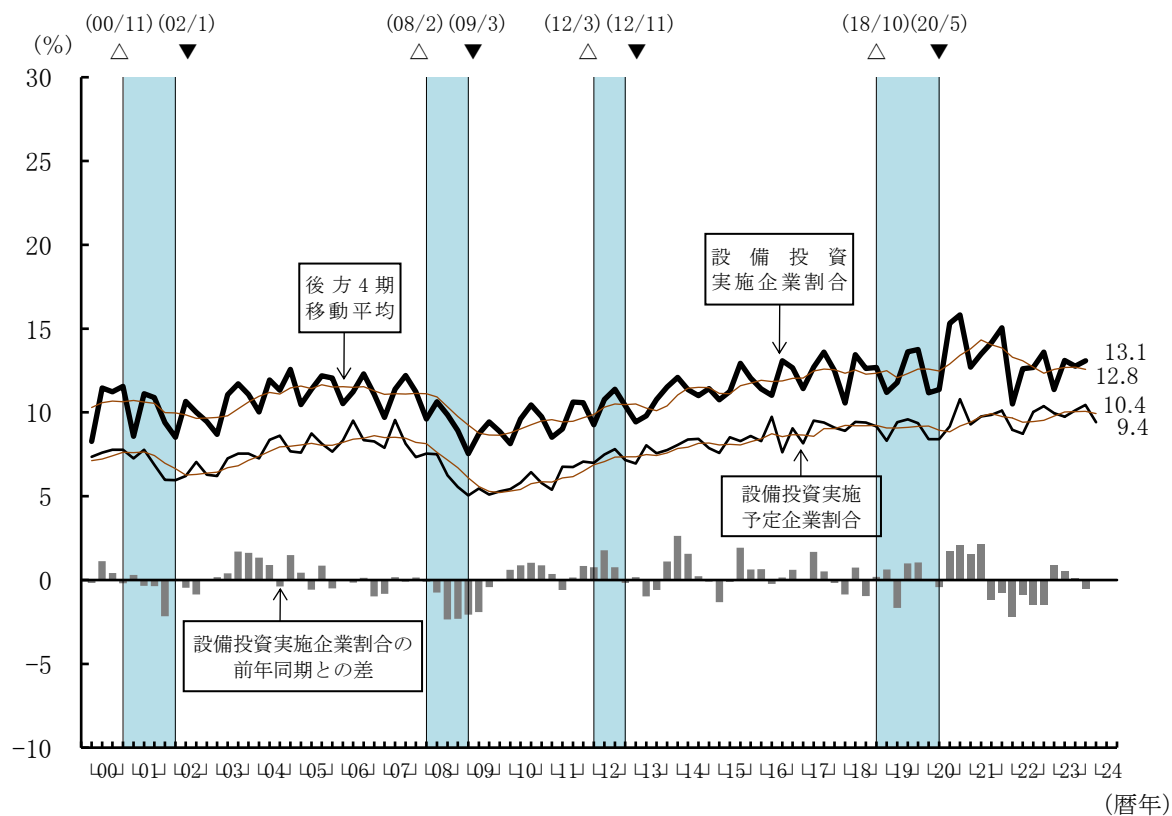


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。  
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの。  
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から0.3ポイント上昇し、13.1%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、1.3ポイント低下し、26.1となった。来期も低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、2.4ポイント低下し、72.9となった。来期も低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2023年10－12月期実績、2024年1－3月期および4－6月期見通し)

中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2023年12月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）12,567社
有 効 回 答 数	4,978 社 [回答率 39.6 %]

### < 業 種 構 成 >

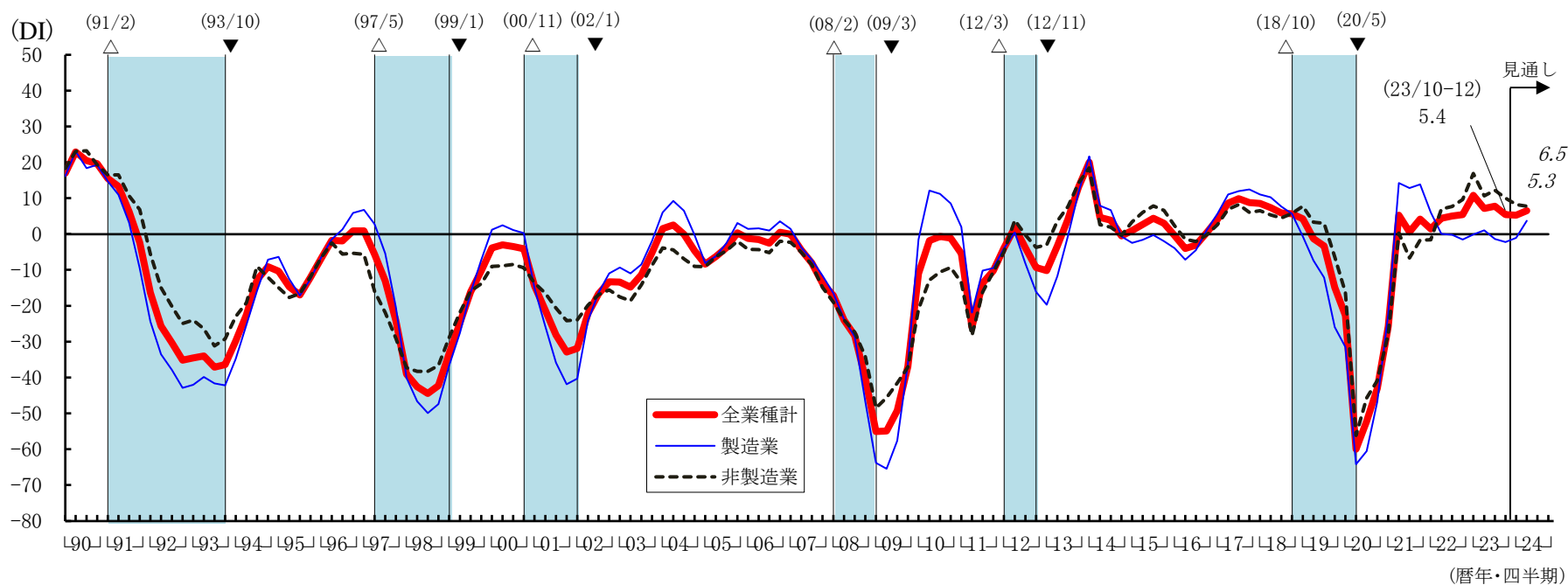
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,258 社	1,818 社	(構成比	36.5 %)
鉱 業	13 社	5 社	( 同	0.1 %)
建 設 業	1,141 社	477 社	( 同	9.6 %)
運送業(除水運)	800 社	348 社	( 同	7.0 %)
水 運 業	153 社	60 社	( 同	1.2 %)
倉 庫 業	48 社	30 社	( 同	0.6 %)
情 報 通 信 業	353 社	123 社	( 同	2.5 %)
ガ ス 供 給 業	10 社	8 社	( 同	0.2 %)
不 動 産 業	746 社	292 社	( 同	5.9 %)
宿泊・飲食サービス業	765 社	241 社	( 同	4.8 %)
卸 売 業	1,770 社	680 社	( 同	13.7 %)
小 売 業	906 社	329 社	( 同	6.6 %)
サ ー ビ ス 業	1,604 社	567 社	( 同	11.4 %)

# 1 業況判断

- 今期（2023年10－12月期）の業況判断DIは、前期（2023年7－9月期）から2.3ポイント低下し、5.4となった。
- 来期（2024年1－3月期）はほぼ横ばいの5.3、来々期（2024年4－6月期）は6.5となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

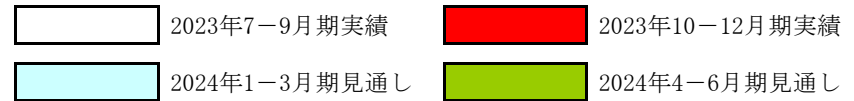
	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12 (前回見通し)	2024/1-3 (前回見通し)	2024/4-6
業況判断DI (季節調整値)	5.4	10.8	7.1	7.7	5.4 ( 12.8)	5.3 ( 14.9)	6.5
製 造 業	▲ 1.5	▲ 0.1	1.1	▲ 1.3	▲ 2.2 ( 6.0)	▲ 1.1 ( 10.4)	3.7
非 製 造 業	9.6	16.9	10.6	12.2	10.0 ( 16.6)	8.2 ( 17.4)	7.8



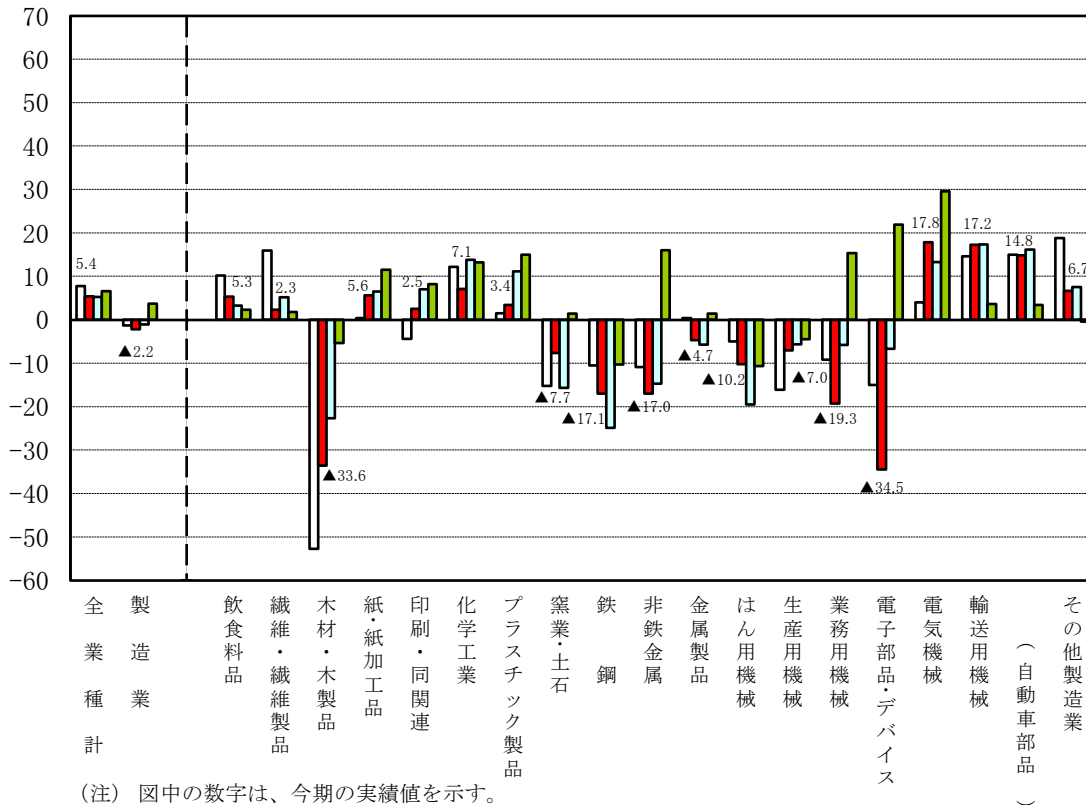
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、木材・木製品、電気機械、生産用機械等が上昇した。一方、電子部品・デバイス、繊維・繊維製品、業務用機械等は低下した。
- 非製造業は、水運業、小売業、運送業（除水運）等が上昇した。

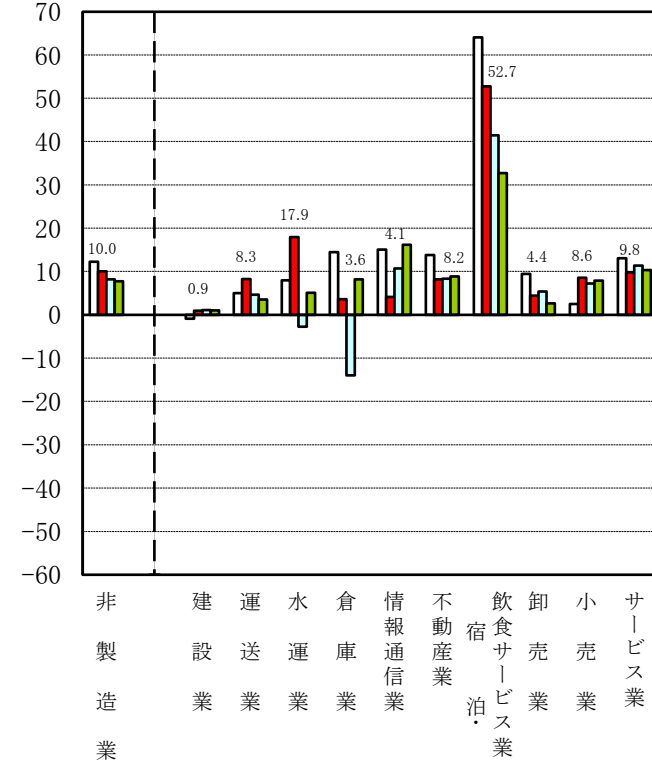
図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）



－製造業－  
(DI)

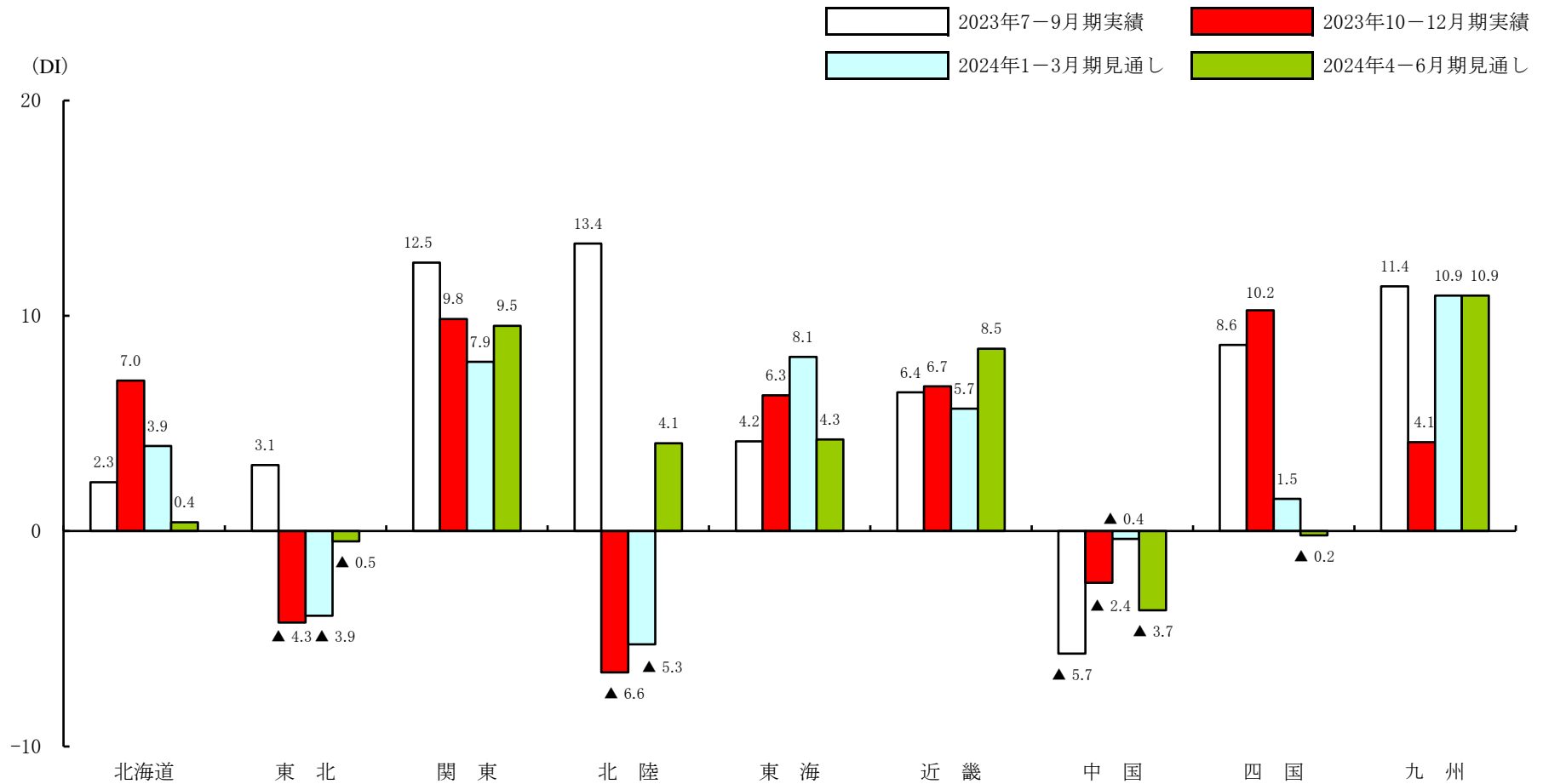


－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、東海、近畿、中国、四国の5地域で上昇した。
- 来期は、東北、北陸、東海、中国、九州の5地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

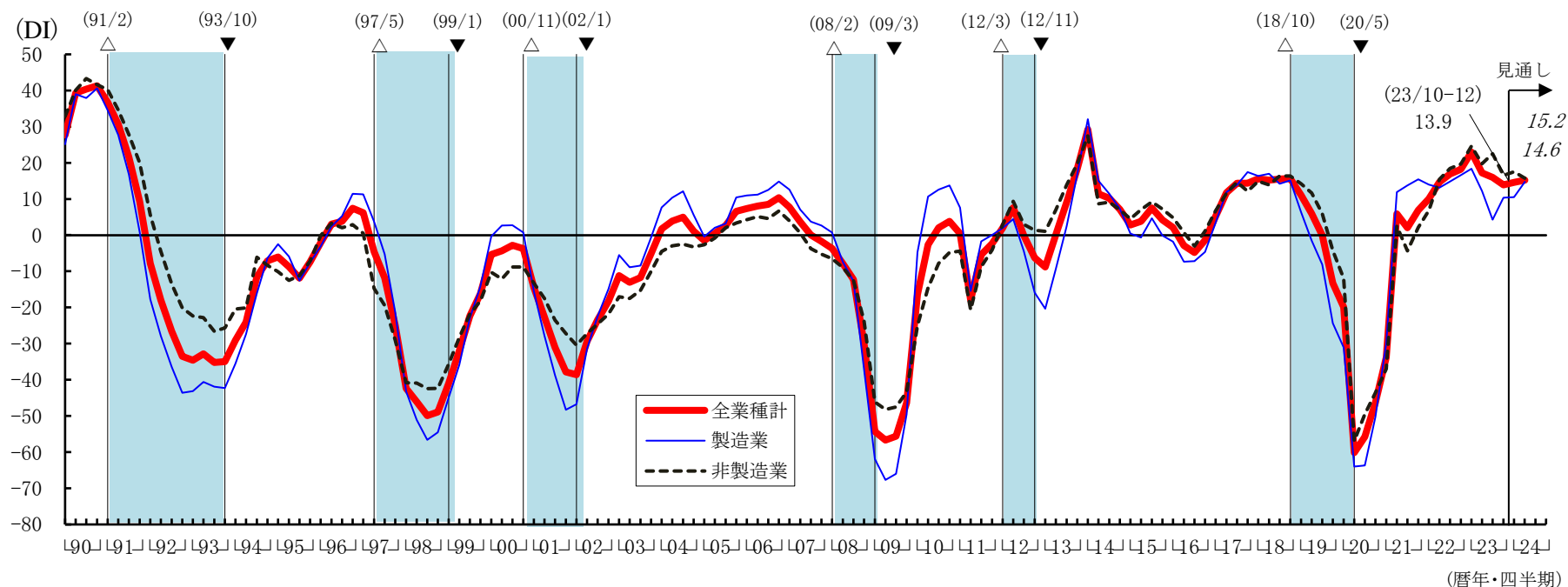


## 2 売上

- 今期の売上DIは、前期から2.0ポイント低下し、13.9となった。
- 来期は14.6と上昇し、来々期は15.2となる見通しである。

図ー4 売上DIの推移（季節調整値）

	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12 (前回見通し)	2024/1-3 (前回見通し)	2024/4-6
売上DI (季節調整値)	18.2	23.0	17.2	15.9	13.9 ( 22.8)	14.6 ( 25.0)	15.2
製 造 業	16.6	18.4	12.2	4.2	10.3 ( 14.1)	10.5 ( 19.8)	14.8
非 製 造 業	19.7	24.6	19.8	22.5	16.5 ( 27.6)	17.5 ( 27.8)	15.7



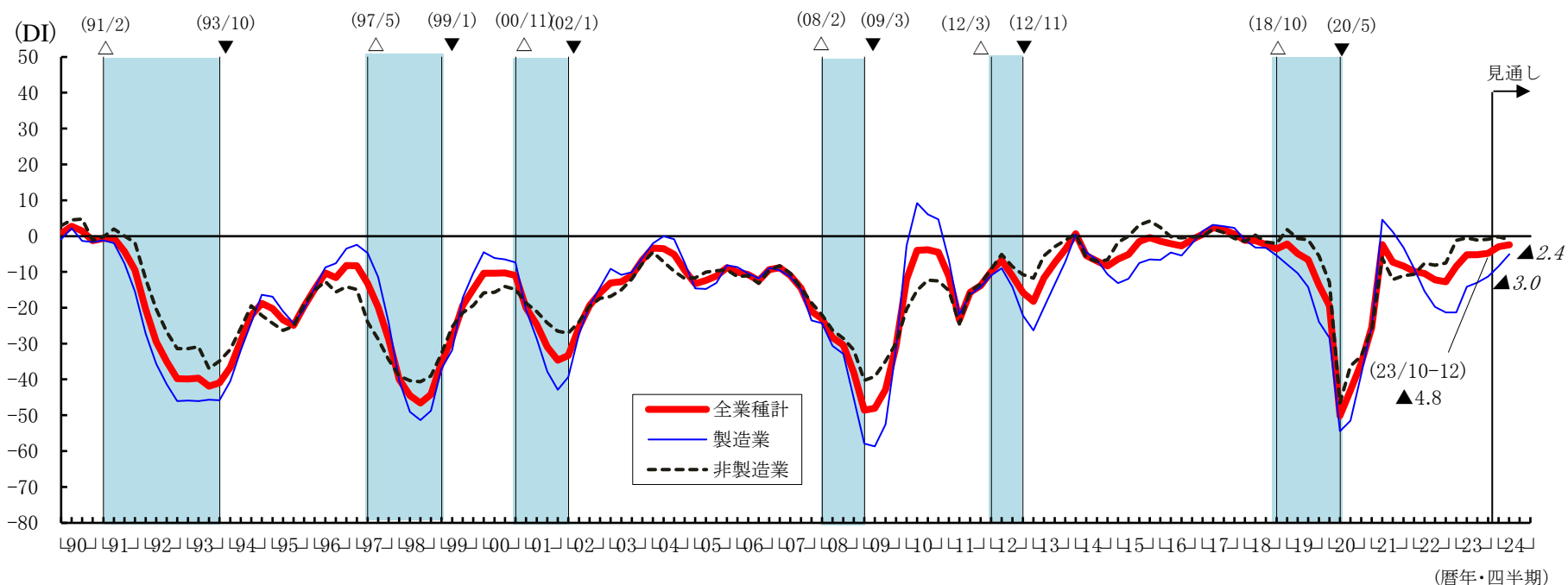
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からほぼ横ばいで推移し、▲4.8となった。
- 来期は▲3.0とマイナス幅が縮小し、来々期は▲2.4となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12 (前回見通し)	2024/1-3 (前回見通し)	2024/4-6
純益率DI (季節調整値)	▲ 12.7	▲ 8.4	▲ 5.2	▲ 5.2	▲ 4.8 ( 0.4)	▲ 3.0 ( 2.3)	▲ 2.4
製 造 業	▲ 21.3	▲ 21.3	▲ 14.2	▲ 13.0	▲ 11.3 (▲ 7.0)	▲ 8.4 (▲ 3.1)	▲ 5.1
非 製 造 業	▲ 7.5	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.9 ( 4.4)	▲ 0.2 ( 5.0)	▲ 1.1



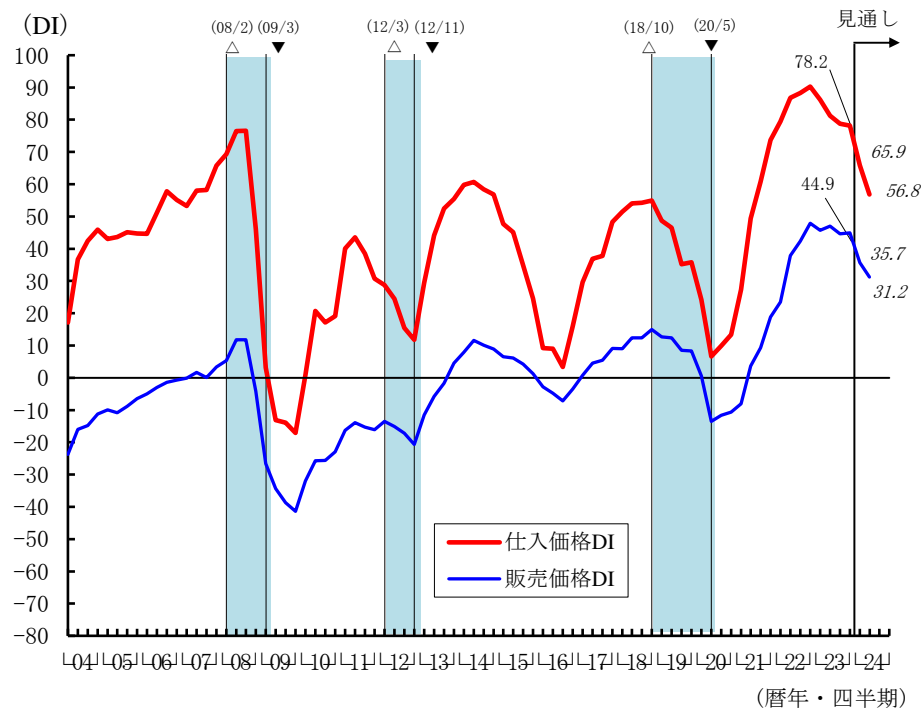
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期からほぼ横ばいで推移し、44.9となった。仕入価格DIは前期から0.6ポイント低下し、78.2となった。来期の販売価格DI、仕入価格DIは、ともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは、前期からほぼ横ばいで推移した。長期借入難易DIと短期借入難易DIは、ともに前期から上昇した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

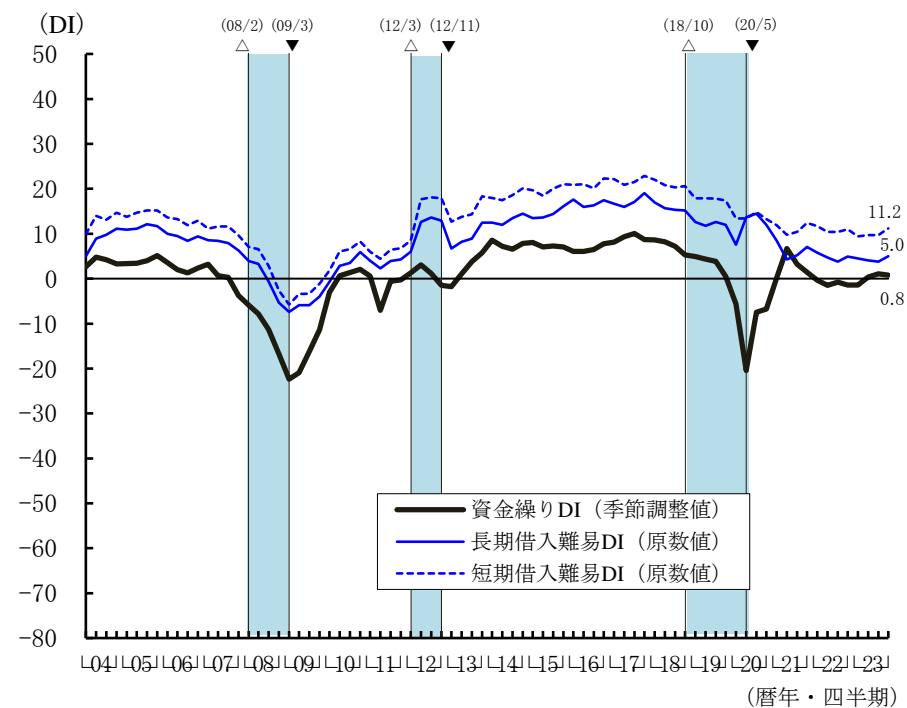
	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6
販売価格DI	47.9	45.7	47.0	44.6	44.9	35.7	31.2
仕入価格DI	90.3	86.2	81.2	78.8	78.2	65.9	56.8



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12
資金繰りDI（季節調整値）	▲ 1.4	▲ 1.4	0.4	1.1	0.8
長期借入難易DI（原数値）	4.9	4.5	4.1	3.8	5.0
短期借入難易DI（原数値）	11.0	9.4	9.7	9.7	11.2



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

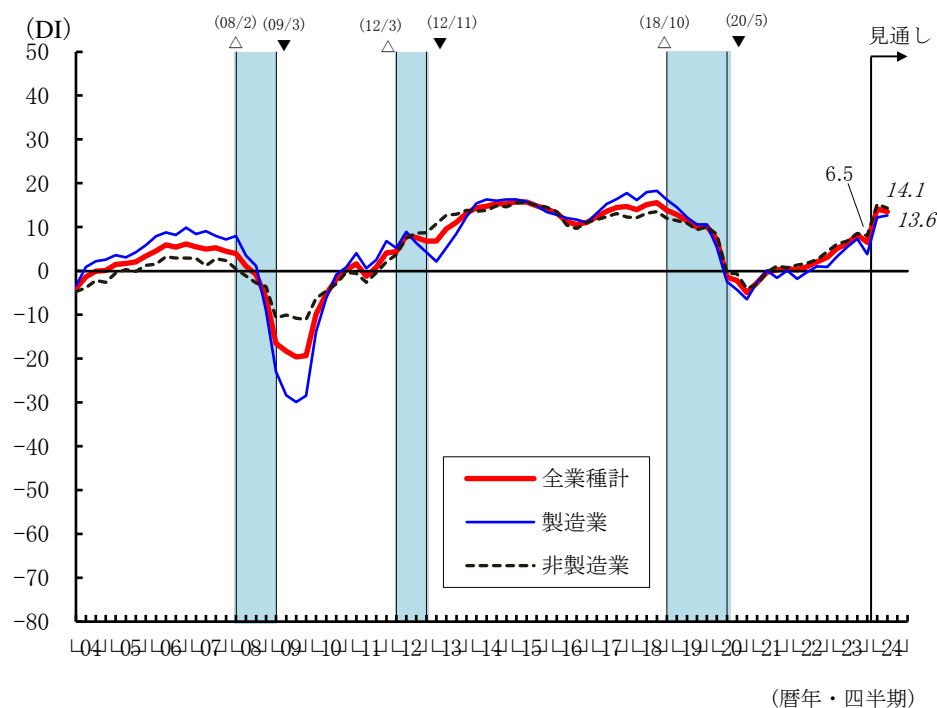


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から1.8ポイント低下し、6.5となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期からほぼ横ばいで推移し、36.8%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

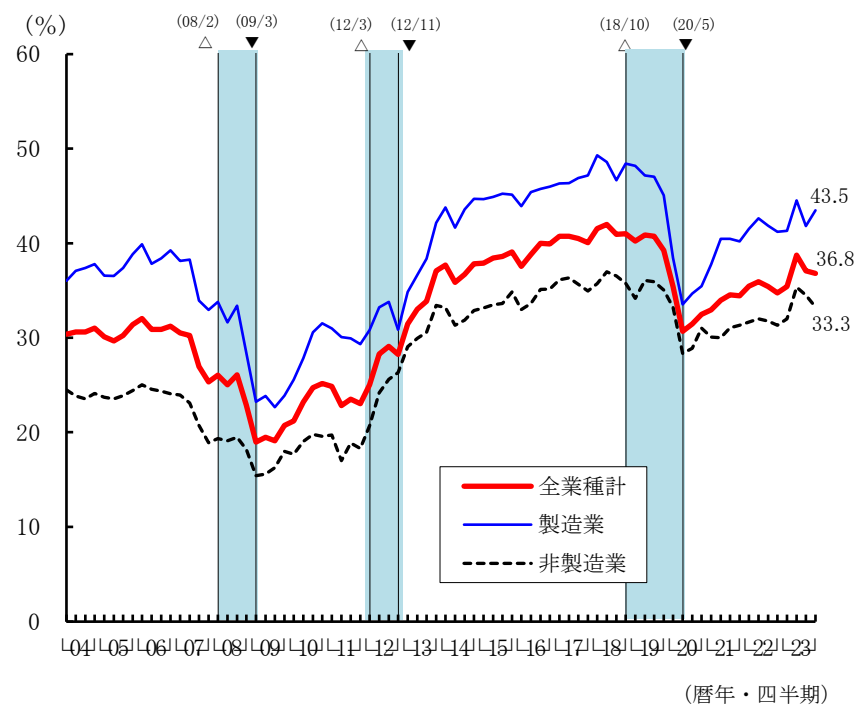
	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6
全業種計	3.1	5.1	6.3	8.3	6.5	14.1	13.6
製造業	0.9	3.3	5.4	7.3	3.8	12.2	12.6
非製造業	4.4	6.1	6.8	8.6	8.1	15.2	14.3



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12
全業種計	34.7	35.4	38.7	37.1	36.8
製造業	41.2	41.3	44.5	41.8	43.5
非製造業	31.3	32.0	35.3	34.5	33.3



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が28.9%と最も多く、次いで、「求人難」(25.9%)、「原材料高」(22.0%)となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は1.7ポイント上昇した。「原材料高」は2.8ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

